

注目！必読！文芸書注文書 幻冬舎ルネッサンス

しゅつくり日和 川上陽子【著】

阿呆やなあ、おと一さん。
 大事なことは、ちゃんと伝えな。
 母はいつか、父を赦すだろうか。この家族にも、互いに「わたしたち」と呼び合うようになる日が、来るのだろうか。父の「おっきい、わすれもの」が家族をゆるやかに結んでゆく、やさしくてしょっぱい2つの物語。

【しゅつくり日和】

酒乱の父、潔癖症の母、喋ることに怯える半引きこもりの主人公美月。鍋を囲むのも戦々恐々、家族旅行もままならない。“よい家族”を目指すのに、それが悉く裏目に出てしまう。そんな緊張感と失望の毎日を過ごしていたある日、父が倒れた。

【父の骨が、笑う】

「ただいま、美月ちゃん！」手袋をつけ白い息を吐きながら、男が美月を訪ねてきた。今は夏だというのに、おかしいではないか。上質のものを身に付けた、いけるこの男は、一体何者だ？ とまどう美月に構わず、家に上がりこむ男。やがて帰宅した母は、その男を「こねこになった、おと一さん」だと言う。

■著者紹介

兵庫県神戸市出身。12月31日生まれ。
 京都大学大学院 人間・環境学研究科
 博士課程在籍。

体裁：四六判／

上製本(208ページ)

定価：1,365円(本体1,300円+税)

ISBNコード：978-4-7790-0291-5

Cコード：C0093



しゅつくり日和

川上陽子

あれだけ鬱陶しかった父親なのに……。
 最後のページを読み終えた時、奇跡の涙があふれる。

「なんじゃ、この娘はー殺したるっー」
 酒を飲んでは舞れ狂う父、私をひたすら罵る母。
 父を憎みながら父を求め、母を愛しながら母を否定しつづける私。
 家族であることの切なさを描き、家族とは何かを深く問いかける、
 やさしくてしょっぱい二つの物語。

重典の新人デビュー作!!



定価：1,365円(税込)
 ISBN978-4-7790-0291-5

〈2008年3月9日〉
 読売新聞広告

貴店印	注文数	発注日 月 日	幻冬舎ルネッサンス
		川上陽子【著】	四六判／上製
		しゅつくり日和	
		冊 ISBN978-4-7790-0291-5	本体1,300円+税

ご注文は FAX 03-5411-6667 まで お問合せ電話番号 03-5411-6710
 ※品切れの際はご容赦願います。

注文書は <http://www.gentosha-r.com/news/bookstore/> からダウンロード可能です。